

佳作

## 朝のおはように行ってきました

茨城県 かすみがうら市立下稻吉東小学校四年 酒井 拓夢

ぼくの家は、八人家族です。

だから、「おはよう」は毎朝七回言います。

ぼくには、元気に「おはよう」が言える朝と、そうじゃない朝があります。

気持ちよく目がさめた朝には、元気に「おはよう」が言えるのに、こわくて、いやな夢を見て起きた朝には、つまらない顔をして、小さな声の「おはよう」しか言えません。

そうすると、「たっくん、どうしたの?」と七回聞かれてしまいます。

それで、理由を話すと、みんなに笑われます。

そうしてるうちに、こわくていやな夢もわすれてしまいます。

ぼくは、それで助かっています。

学校に行く日の朝、ぼくは、「行ってきます」「げんかんで家中のみんなにむかって一回言います。」

すると、あっちこっちから「行ってらっしゃい」が七回聞こえてきます。ぼくは、これで毎朝、気持ちよく学校に行くことができます。

でも、ねる前に時間わりをするのをわすれたりして、朝からお母さんに注意されたりすることがたまにあります。

三年生のとき、「行ってきます」をいわないで学校に行ったことが一度だけあって、その日のぼくは、一日中ずっと気持ちがすっきりしなかったのです。どんなことがあっても「行ってきます」は、ちゃんと言うことにしています。

ぼくのお母さんは

「行ってきます」「は、元気に行って、元気に帰ってくるってことなんだから、「行くね」とか「じゃあね」とかじゃなくて、「行ってきます」って言うってねと言います。」

